

景況感、横這い圏内で推移

香川県内企業経営動向調査（平成 24 年 9 月実施）

概要

今期(平成 24 年 7～9 月期)の業況判断指数 (BSI) は△27.5 となり、前期 (平成 24 年 4～6 月期) 実績の△18.8 から 8.7 ポイント悪化した。東日本大震災後のサプライチェーンの立ち直りで景況感が急回復した前年同期 (23 年 7～9 月期) 実績の△17.5 も 10.0 ポイント下回った。

項目別の判断指数は、全 9 項目のうち、前期より低下した指数は、受注高、生産高、売上高、資金繰り、雇用状況の 5 項目であった。

来期(平成 24 年 10～12 月期)の業況判断指数 (BSI) の見通しは△18.8 となり、今期実績の△27.5 から 8.7 ポイントの改善となった。しかし、前年同期 (平成 23 年 10～12 月期) 実績の△17.0 は 1.8 ポイント下回る水準である。

項目別の判断指数は、全 9 項目のうち、今期 (24 年 7～9 月期) 実績を上回る見通しの指数は、受注高、生産高、売上高、資金繰り、設備投資、雇用状況、採算の 7 項目である。

概況 今期の業況判断指数 (BSI) は、海外景気の減速や円高の長期化、盛り上がりや欠く個人消費を背景に 2 期ぶりに悪化した。来期は内需関連の製造業で一部景況感の改善がみられるものの、エコカー補助金制度の終了や海外経済の更なる減速懸念などの下押し要因により、景況感は横這い圏内で推移する見通しである。

期	平成23年				平成24年			
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
製造業	(△ 26.2)	(△ 30.4)	(△ 8.2)	(△ 10.4)	(△ 23.5)	(△ 10.4)	(△ 18.5)	(△ 7.8)
	△ 18.8	△ 31.5	△ 10.4	△ 6.2	△ 22.1	△ 17.3	△ 24.7	
非製造業	(△ 33.3)	(△ 43.8)	(△ 26.4)	(△ 15.6)	(△ 20.8)	(△ 18.3)	(△ 16.5)	(△ 28.9)
	△ 39.7	△ 41.7	△ 24.7	△ 29.2	△ 23.2	△ 20.3	△ 30.1	
全業種	(△ 29.9)	(△ 37.3)	(△ 17.2)	(△ 13.0)	(△ 22.2)	(△ 14.5)	(△ 17.5)	(△ 18.8)
	△ 29.6	△ 36.6	△ 17.5	△ 17.0	△ 22.6	△ 18.8	△ 27.5	
前年同期比(差異)	0.3	△ 5.7	10.4	7.1	7.0	17.8	△ 10.0	(△ 1.8)

B S I : Business Survey Index の略で、企業動向の現状と見通しに対する企業経営者の判断を数字で表したものの。次の算式により求める。

$$B S I = X - Y$$

X : 「好転 (増加)」 と回答した企業の割合

Y : 「悪化 (減少)」 と回答した企業の割合

※回答は、①好転 (増加)、②不変、③悪化 (減少) から 1 つ選択

(注) 本文中、時期の略記は、それぞれ次の期間を表す。

・前期 : 平成 24 年 4～6 月、今期 : 平成 24 年 7～9 月、来期 : 平成 24 年 10～12 月

・Ⅰ期 : 1～3 月、Ⅱ期 : 4～6 月、Ⅲ期 : 7～9 月、Ⅳ期 : 10～12 月

I. 項目別 BSI

1. 業界業況判断 BSI

2 期ぶりに悪化も、来期は改善の見通し。

<今期実績(平成 24 年 7~9 月期)>

今期の業界業況判断指数 (BSI) は、△27.5 で、前期 (24 年 4~6 月期) 実績の△18.8 から 8.7 ポイント低下し、2 期ぶりに悪化した。東日本大震災で寸断したサプライチェーンの立ち直りがみられ景況感が急激に回復した前年同期 (23 年 7~9 月期) 実績の△17.5 は 10.0 ポイント下回った。

業種別では、製造業が△24.7 となり、前期実績の△17.3 から 7.4 ポイントの悪化。製造業全 9 業種のうち、食料品、繊維製品、機械器具、輸送用機械器具、その他製造業の 5 業種で指数が低下した。

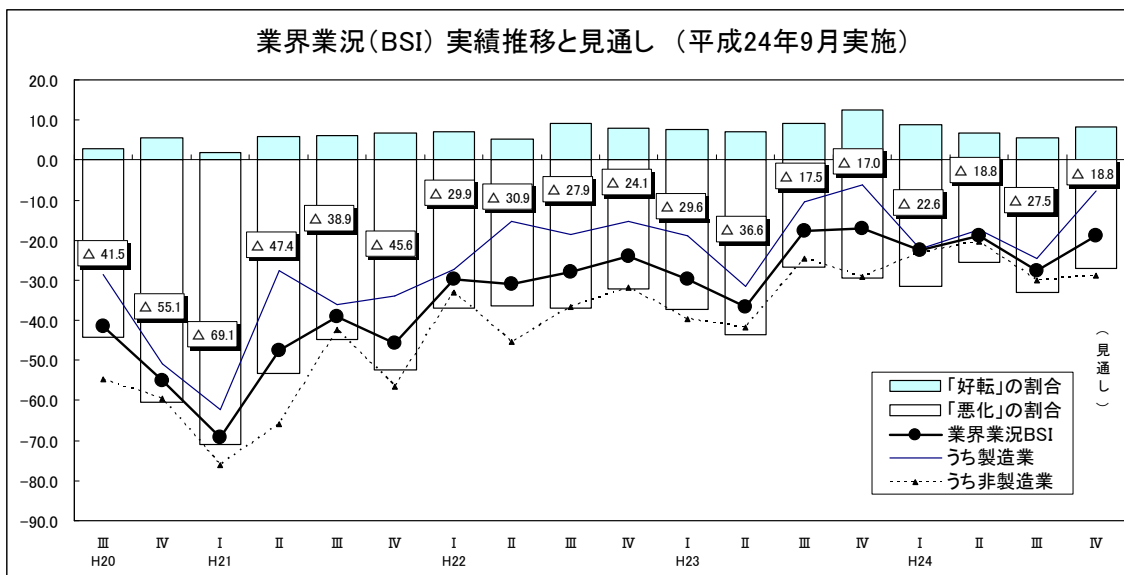
非製造業は前期の△20.3 から今期の△30.1 へと 9.8 ポイント悪化した。非製造業全 5 業種のうち、建設業以外の 4 業種が悪化した。

<来期見通し(平成 24 年 10~12 月期)>

来期の業界業況判断見通し BSI は△18.8 で、今期 (24 年 7~9 月期) 実績△27.5 より 8.7 ポイントの改善の見通しである。前年同期 (23 年 10~12 月期) 実績の△17.0 は 1.8 ポイント下回る水準である。

業種別では、製造業が△7.8 となり、今期実績の△24.7 から 16.9 ポイントの改善。製造業全 9 業種のうち、食料品、化学工業・石油製品、金属製品、その他製造業の 4 業種で指数が上昇、低下は機械器具の 1 業種である。

非製造業は△28.9 となり、今期実績の△30.1 から 1.2 ポイントの改善の見通しである。非製造業全 5 業種のうち、小売業以外の 4 業種が今期と比べ改善又は不変の見通しである。



■業界業況判断指数（各期比較）

業種	実績値					見通し	増減			
	今期の前年同期 (H23.7-9月)	来期の前年同期 (H23.10-12月)	前期 (H24.4-6月)	今期 (H24.7-9月)	来期 (H24.10-12月)		今期(H24.7-9月)		来期(H24.10-12月)	
	①	②	③	④	⑤		前期比 (④-③)	前年同期比 (④-①)	今期比 (⑤-④)	前年同期比 (⑤-②)
製造業	△ 10.4	△ 6.2	△ 17.3	△ 24.7	△ 7.8	△ 7.4	△ 14.3	16.9	△ 1.6	
食料品	△ 7.1	△ 6.7	△ 20.0	△ 28.6	0.0	△ 8.6	△ 21.5	28.6	6.7	
繊維製品	12.5	0.0	△ 11.1	△ 12.5	△ 12.5	△ 1.4	△ 25.0	0.0	△ 12.5	
木材・木製品	25.0	40.0	△ 20.0	20.0	20.0	40.0	△ 5.0	0.0	△ 20.0	
窯業・土石製品	△ 40.0	0.0	△ 25.0	0.0	0.0	25.0	40.0	0.0	0.0	
化学工業・石油製品	△ 28.6	△ 42.9	△ 28.6	△ 28.6	14.3	0.0	0.0	42.9	57.2	
金属製品	△ 9.1	0.0	△ 18.2	△ 18.2	9.1	0.0	△ 9.1	27.3	9.1	
機械器具	27.3	0.0	16.7	△ 9.1	△ 18.2	△ 25.8	△ 36.4	△ 9.1	△ 18.2	
輸送用機械器具	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0	△ 60.0	△ 60.0	△ 35.0	△ 35.0	0.0	△ 35.0	
その他	△ 46.2	△ 14.3	△ 35.7	△ 53.8	△ 23.1	△ 18.1	△ 7.6	30.7	△ 8.8	
非製造業	△ 24.7	△ 29.2	△ 20.3	△ 30.1	△ 28.9	△ 9.8	△ 5.4	1.2	0.3	
建設業	△ 50.0	△ 44.4	△ 15.4	△ 13.3	△ 13.3	2.1	36.7	0.0	31.1	
卸売業	△ 16.7	△ 27.8	△ 12.5	△ 41.2	△ 35.3	△ 28.7	△ 24.5	5.9	△ 7.5	
小売業	△ 19.0	△ 22.2	△ 19.0	△ 25.0	△ 35.0	△ 6.0	△ 6.0	△ 10.0	△ 12.8	
運輸業	0.0	△ 30.0	△ 18.2	△ 20.0	△ 20.0	△ 1.8	△ 20.0	0.0	10.0	
サービス業 その他	△ 38.9	△ 29.4	△ 33.3	△ 42.9	△ 33.3	△ 9.6	△ 4.0	9.6	△ 3.9	
合計	△ 17.5	△ 17.0	△ 18.8	△ 27.5	△ 18.8	△ 8.7	△ 10.0	8.7	△ 1.8	

2. 受注高判断 BSI

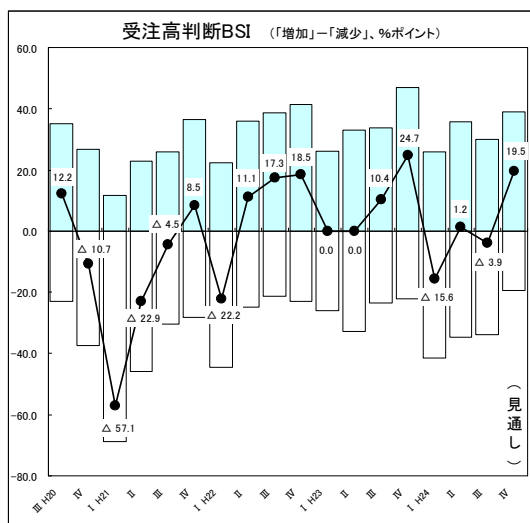
2期ぶりに低下も、来期は上昇の見通し。

＜今期実績(平成24年7～9月期)＞

今期の受注高 BSI は△3.9 で前期実績 1.2 を 5.1 ポイント、前年同期実績 10.4 を 14.3 ポイントそれぞれ下回った。

＜来期見通し(平成24年10～12月期)＞

来期の受注高見通し BSI は 19.5 となり、今期実績の△3.9 から 23.4 ポイント上昇するものの、前年同期実績の 24.7 は 5.2 ポイント下回る見通しである。



業種	各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期
製造業	△ 5.1	23.4	△ 14.3	△ 5.2
食料品	△ 54.3	50.0	△ 21.4	2.4
繊維製品	△ 36.1	25.0	△ 25.0	△ 11.1
木材・木製品	20.0	0.0	△ 35.0	△ 40.0
窯業・土石製品	△ 33.3	33.3	△ 73.3	0.0
化学工業・石油製品	△ 57.2	100.0	△ 14.3	57.1
金属製品	45.5	18.2	0.0	0.0
機械器具	45.5	△ 45.5	0.0	△ 16.7
輸送用機械器具	10.0	△ 20.0	△ 40.0	△ 10.0
その他	6.6	38.5	7.7	△ 19.2
合計	△ 5.1	23.4	△ 14.3	△ 5.2

(注) 非製造業は調査対象外

3. 生産高判断 BSI

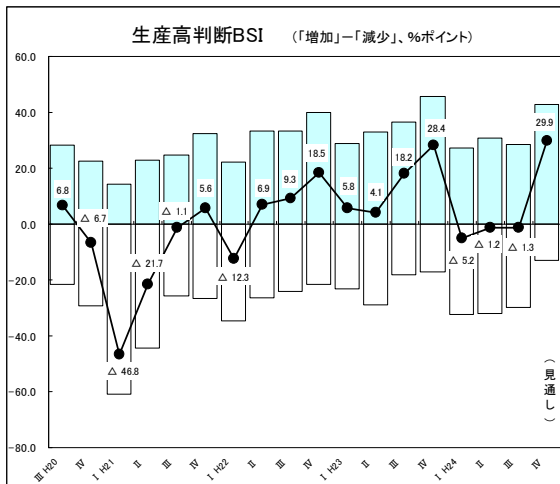
2期ぶりに低下も、来期は上昇の見通し。

<今期実績(平成24年7~9月期)>

今期の生産高 BSI は△1.3 で、前期実績△1.2 を 0.1 ポイント、前年同期実績 18.2 を 19.5 ポイントそれぞれ下回った。

<来期見通し(平成24年10~12月期)>

来期の生産高見通し BSI は 29.9 で今期実績△1.3 を 31.2 ポイント、前年同期実績 28.4 を 1.5 ポイントそれぞれ上回る見通しである。



業種	◆生産高判断(増減)		各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期
製造業	△ 0.1	31.2	△ 19.5	1.5		
食料品	△ 47.1	57.1	△ 14.2	10.0		
繊維製品	11.1	0.0	△ 25.0	△ 11.1		
木材・木製品	0.0	20.0	△ 30.0	△ 40.0		
窯業・土石製品	△ 8.3	33.3	△ 53.3	50.0		
化学工業・石油製品	△ 57.2	100.0	△ 14.3	57.1		
金属製品	45.5	27.3	0.0	0.0		
機械器具	35.6	△ 18.2	△ 36.3	△ 7.6		
輸送用機械器具	0.0	△ 20.0	△ 25.0	△ 20.0		
その他	6.0	53.9	△ 15.4	△ 11.5		
合計	△ 0.1	31.2	△ 19.5	1.5		

(注)非製造業は調査対象外

【売上高の増加・減少要因】

「売上高増加要因」の第1位は『季節的な需要増加』の70.4%、次いで『景気動向』の11.1%。「減少要因」は第1位が『季節的な需要減少』の43.9%、次いで『景気動向』の35.1%となっている。

4. 売上高判断 BSI

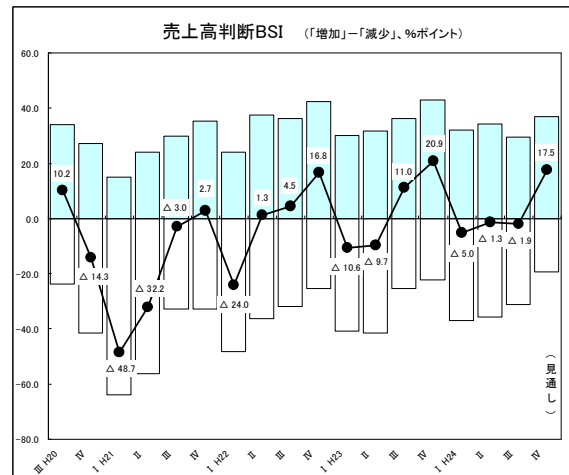
2期ぶりに低下も、来期は上昇の見通し。

<今期実績(平成24年7~9月期)>

今期の売上高 BSI は、製造業 1.3、非製造業△4.8、全産業で△1.9 となり、前期実績を 0.6 ポイント、前年同期実績を 12.9 ポイントそれぞれ下回った。

<来期見通し(平成24年10~12月期)>

来期の売上高見通し BSI は、製造業 29.9、非製造業 6.0、全産業で 17.5 となり、今期実績を 19.4 ポイント上回る見通しである。



業種	◆売上高判断(増減)		各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期
製造業	1.3	28.6	△ 16.9	△ 2.2		
食料品	△ 32.4	21.4	0.0	△ 4.3		
繊維製品	12.5	25.0	△ 12.5	△ 18.1		
木材・木製品	40.0	0.0	△ 35.0	△ 40.0		
窯業・土石製品	△ 58.3	33.3	△ 93.3	0.0		
化学工業・石油製品	△ 57.2	100.0	0.0	57.1		
金属製品	36.4	27.3	0.0	△ 9.1		
機械器具	25.8	△ 18.2	△ 45.4	△ 17.4		
輸送用機械器具	5.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 15.0		
その他	13.7	69.2	△ 7.7	18.6		
非製造業	△ 2.3	10.8	△ 8.7	△ 2.3		
建設業	△ 5.6	20.0	6.7	△ 4.4		
卸売業	0.0	41.2	△ 5.6	19.0		
小売業	29.0	△ 5.0	△ 9.0	△ 11.7		
運輸業	29.1	△ 50.0	10.0	0.0		
サービス業 その他	△ 50.8	23.8	△ 23.0	△ 10.7		
合計	△ 0.6	19.4	△ 12.9	△ 3.4		

5. 在庫高判断 BSI

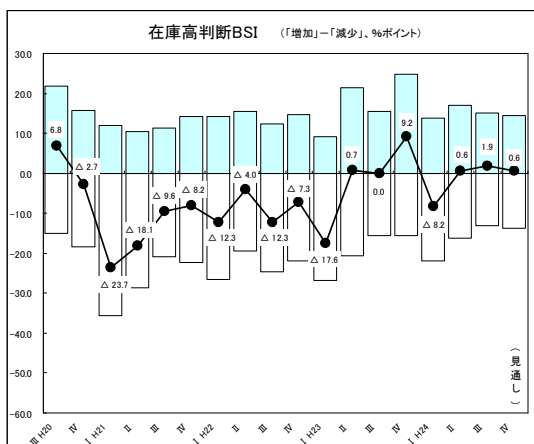
2期連続上昇も、来期は低下の見通し。

<今期実績(平成24年7~9月期)>

今期の在庫高 BSI は、製造業 1.3、非製造業 2.4、全産業で 1.9 となり、前期実績を 1.3 ポイント、前年同期実績を 1.9 ポイントそれぞれ上回った。

<来期見通し(平成24年10~12月期)>

来期の在庫高見通し BSI は、製造業が $\Delta 10.4$ 、非製造業は 10.8、全産業では 0.6 となり、今期実績を 1.3 ポイント下回る見通しである。



業種	◆在庫高判断(増減)		各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期
製造業	0.1	$\Delta 11.7$	$\Delta 10.4$	$\Delta 21.5$		
食料品	$\Delta 6.7$	$\Delta 14.3$	28.6	$\Delta 21.0$		
繊維製品	$\Delta 20.8$	$\Delta 62.5$	0.0	$\Delta 38.9$		
木材・木製品	20.0	$\Delta 20.0$	$\Delta 50.0$	$\Delta 40.0$		
窯業・土石製品	$\Delta 8.3$	66.6	$\Delta 53.3$	8.3		
化学工業・石油製品	0.0	$\Delta 14.3$	$\Delta 28.6$	$\Delta 28.6$		
金属製品	$\Delta 18.2$	27.3	$\Delta 63.7$	$\Delta 36.4$		
機械器具	44.0	$\Delta 36.4$	0.0	$\Delta 9.1$		
輸送用機械器具	0.0	$\Delta 20.0$	25.0	$\Delta 45.0$		
その他	$\Delta 6.6$	0.0	0.0	0.6		
非製造業	2.4	8.4	14.1	3.9		
建設業	13.3	$\Delta 6.6$	3.3	6.7		
卸売業	0.4	23.5	21.9	$\Delta 10.2$		
小売業	$\Delta 4.5$	0.0	5.0	5.0		
運輸業	0.0	0.0	10.0	0.0		
サービス業 その他	5.6	19.0	22.2	19.0		
合計	1.3	$\Delta 1.3$	1.9	$\Delta 8.6$		

6. 資金繰り判断 BSI

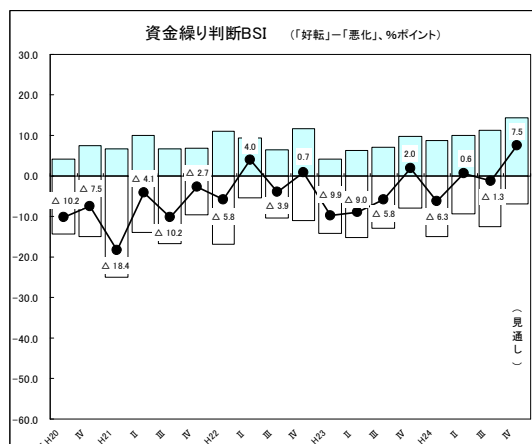
2期ぶりに悪化も、来期は改善の見通し。

<今期実績(平成24年7~9月期)>

今期の資金繰り BSI は、製造業が 3.9、非製造業が $\Delta 6.0$ 、全産業では $\Delta 1.3$ となり、前期実績を 1.9 ポイント下回ったが、前年同期実績は 4.5 ポイント上回った。

<来期見通し(平成24年10~12月期)>

来期の資金繰り見通し BSI は、製造業が 16.9、非製造業が $\Delta 1.2$ 、全産業では 7.5 となり、今期実績を 8.8 ポイント上回る見通しである。



業種	◆資金繰り判断(増減)		各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期
製造業	1.4	13.0	2.6	10.7		
食料品	$\Delta 13.8$	21.4	0.0	14.3		
繊維製品	1.4	12.5	25.0	2.8		
木材・木製品	40.0	0.0	$\Delta 25.0$	$\Delta 20.0$		
窯業・土石製品	25.0	0.0	20.0	0.0		
化学工業・石油製品	$\Delta 42.9$	71.5	$\Delta 28.6$	28.6		
金属製品	27.3	0.0	18.2	0.0		
機械器具	10.6	$\Delta 27.3$	0.0	$\Delta 8.3$		
輸送用機械器具	0.0	$\Delta 20.0$	0.0	$\Delta 20.0$		
その他	$\Delta 7.1$	38.5	0.0	52.8		
非製造業	$\Delta 4.7$	4.8	7.0	1.6		
建設業	$\Delta 15.4$	6.7	20.0	6.7		
卸売業	6.3	0.0	$\Delta 5.6$	11.1		
小売業	$\Delta 10.0$	15.0	$\Delta 5.2$	16.1		
運輸業	8.2	$\Delta 10.0$	20.0	$\Delta 10.0$		
サービス業 その他	$\Delta 9.5$	4.7	18.3	$\Delta 22.4$		
合計	$\Delta 1.9$	8.8	4.5	5.5		

7. 銀行借入判断 BSI

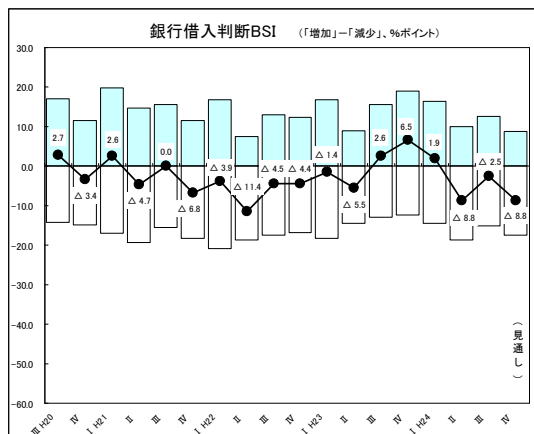
3期ぶりに上昇も、来期は低下の見通し。

<今期実績(平成24年7~9月期)>

今期の銀行借入 BSI は、製造業が 3.9、非製造業が△8.4、全産業では△2.5 となり、前期実績を 6.3 ポイント上回ったが、前年同期実績は 5.1 ポイント下回った。

<来期見通し(平成24年10~12月期)>

来期の銀行借入の見通し BSI は、製造業が△14.3、非製造業が△3.6、全産業では△8.8 となり、今期実績を 6.3 ポイント下回る見通しである。



業種	各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期
製造業	6.4	△18.2	△2.6	△25.4
食品	0.4	7.2	7.1	7.6
繊維製品	47.2	△37.5	0.0	△1.4
木材・木製品	20.0	△60.0	△15.0	△40.0
窯業・土石製品	0.0	33.3	0.0	8.3
化学工業・石油製品	42.9	△71.5	14.3	△42.9
金属製品	18.2	△27.3	△9.1	△36.4
機械器具	△9.1	0.0	18.2	△9.1
輸送用機械器具	△15.0	0.0	△40.0	△40.0
その他	△22.5	△15.4	△23.1	△66.5
非製造業	6.8	4.8	△7.1	△5.0
建設業	8.7	20.0	△26.7	13.3
卸売業	6.6	11.8	21.9	5.9
小売業	4.0	△10.0	△24.5	△25.0
運輸業	△8.2	0.0	0.0	0.0
サービス業 その他	19.0	4.8	△8.7	△9.5
合計	6.3	△6.3	△5.1	△15.3

8. 設備投資判断 BSI

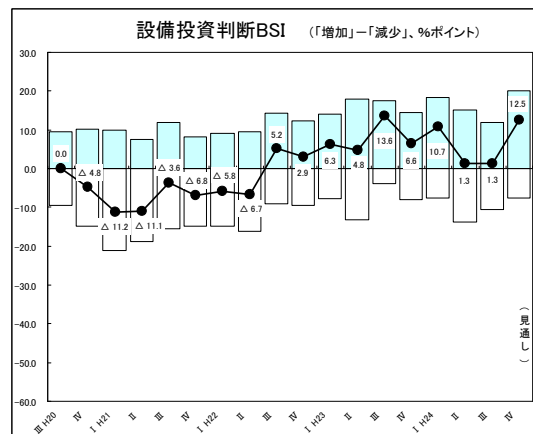
前期と同じも、来期は上昇の見通し。

<今期実績(平成24年7~9月期)>

今期の設備投資 BSI は、製造業が△1.3、非製造業が 3.6、全産業では前期実績と同じ 1.3 となり、前年同期実績は 12.3 ポイント下回った。

<来期見通し(平成24年10~12月期)>

来期の設備投資の見通し BSI は、製造業が 11.7、非製造業が 13.3、全産業では 12.5 となり、今期実績を 11.2 ポイント上回る見通しである。



業種	各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期
製造業	△2.5	13.0	△23.4	4.3
食品	△14.7	35.7	△42.8	34.3
繊維製品	11.1	0.0	△12.5	△11.1
木材・木製品	△20.0	20.0	△50.0	△20.0
窯業・土石製品	0.0	33.3	△20.0	8.3
化学工業・石油製品	28.6	14.3	△28.6	14.3
金属製品	54.6	△9.1	0.0	9.1
機械器具	△16.7	18.2	△9.1	9.9
輸送用機械器具	△5.0	0.0	△5.0	20.0
その他	△44.0	7.7	△38.5	△29.1
非製造業	2.3	9.7	△1.6	7.7
建設業	7.7	△6.7	△10.0	15.5
卸売業	24.3	11.7	11.8	11.7
小売業	△9.3	20.0	△9.3	13.9
運輸業	0.9	20.0	△10.0	20.0
サービス業 その他	△4.8	4.8	6.3	△5.9
合計	0.0	11.2	△12.3	5.9

【設備投資目的】

1位『維持更新』61.5%、2位『合理化・省力・省エネ・技術開発』16.7%、3位『能力増強』14.1%、4位『新製品・新規事業』5.1%。

9. 雇用状況判断 BSI

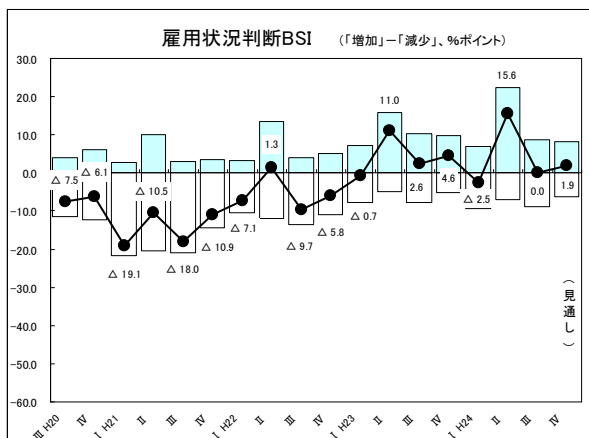
2 期ぶりに低下も、来期は上昇の見通し。

＜今期実績(平成 24 年 7～9 月期)＞

今期の雇用状況 BSI は、製造業が 3.9、非製造業が△3.6、全産業では 0.0 となり、前期実績を 15.6 ポイント、前年同期実績を 2.6 ポイントそれぞれ下回った。

＜来期見通し(平成 24 年 10～12 月期)＞

来期の雇用状況見通し BSI は、製造業が 5.2、非製造業が△1.2、全産業では 1.9 となり、今期実績を 1.9 ポイント上回る見通しである。



業種	各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期
製造業	△ 14.6	1.3	△ 5.2	△ 2.2
食料品	△ 19.6	0.0	△ 7.2	0.4
繊維製品	△ 33.3	△ 25.0	12.5	△ 13.9
木材・木製品	20.0	40.0	△ 25.0	20.0
窯業・土石製品	0.0	33.3	△ 20.0	33.3
化学工業・石油製品	△ 57.2	14.3	△ 14.3	14.3
金属製品	0.0	9.1	9.1	0.0
機械器具	9.9	△ 18.2	9.1	△ 8.3
輸送用機械器具	△ 25.0	△ 20.0	0.0	△ 20.0
その他	△ 22.0	7.7	△ 23.1	△ 14.3
非製造業	△ 16.3	2.4	0.3	△ 2.6
建設業	△ 14.4	13.4	△ 6.7	6.7
卸売業	△ 18.8	△ 5.9	0.0	△ 5.9
小売業	△ 4.3	0.0	0.5	4.4
運輸業	△ 10.0	0.0	△ 10.0	△ 20.0
サービス業 その他	△ 31.0	4.8	13.5	△ 3.6
合計	△ 15.6	1.9	△ 2.6	△ 2.7

10. 採算判断 BSI

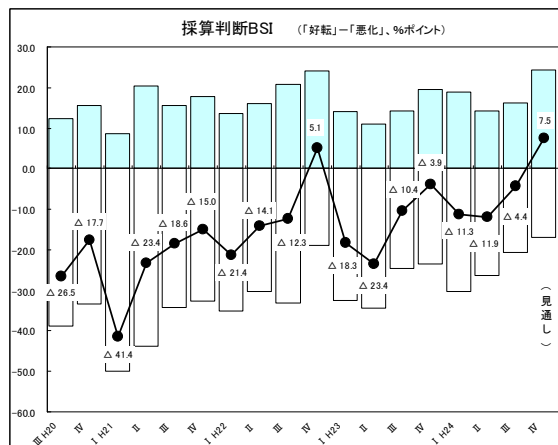
3 期ぶりに上昇、来期も上昇の見通し。

＜今期実績(平成 24 年 7～9 月期)＞

今期の採算 BSI は、製造業が 0.0、非製造業が△8.4、全産業では△4.4 となり、前期実績を 7.5 ポイント、前年同期実績を 6.0 ポイントそれぞれ上回った。

＜来期見通し(平成 24 年 10～12 月期)＞

来期の採算見通し BSI は、製造業が 10.4、非製造業が 4.8、全産業では 7.5 となり、今期実績を 11.9 ポイント上回る見通しである。



業種	各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期
製造業	14.8	10.4	△ 3.9	11.6
食料品	13.3	7.1	14.3	20.4
繊維製品	12.5	12.5	△ 12.5	2.8
木材・木製品	40.0	0.0	0.0	△ 40.0
窯業・土石製品	△ 8.3	66.6	△ 33.3	83.3
化学工業・石油製品	△ 28.6	85.8	△ 14.3	85.8
金属製品	27.3	△ 18.2	0.0	△ 36.4
機械器具	19.0	△ 27.3	△ 9.1	△ 8.3
輸送用機械器具	5.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 15.0
その他	28.6	30.8	0.0	37.9
非製造業	0.5	13.2	16.3	11.7
建設業	8.7	0.0	33.3	4.4
卸売業	△ 6.3	17.6	22.2	28.7
小売業	13.3	25.0	△ 20.0	38.3
運輸業	△ 1.8	0.0	20.0	0.0
サービス業 その他	△ 16.7	14.3	38.9	△ 21.0
合計	7.5	11.9	6.0	11.4

(集計結果)

項目別BSIの全集計結果

■今期(平成24年7～9月期) 企業経営動向実績(BSI)

業種／項目	受注高	生産高	売上高	在庫高	資金繰り	銀行借入	設備投資	雇 用	採 算	業界業況
製造業	△ 3.9	△ 1.3	1.3	1.3	3.9	3.9	△ 1.3	3.9	0.0	△ 24.7
1. 食料品	△ 14.3	△ 7.1	14.3	0.0	△ 7.1	7.1	△ 21.4	7.1	0.0	△ 28.6
2. 繊維製品	△ 25.0	0.0	12.5	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5	△ 12.5
3. 木材・木製品	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0
4. 窯業・土石製品	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 33.3	0.0
5. 化学工業・石油製品	△ 42.9	△ 42.9	△ 42.9	0.0	△ 28.6	28.6	△ 14.3	△ 14.3	△ 42.9	△ 28.6
6. 金属製品	9.1	18.2	9.1	△ 27.3	18.2	0.0	36.4	18.2	9.1	△ 18.2
7. 機械器具	45.5	27.3	9.1	27.3	27.3	△ 9.1	0.0	18.2	27.3	△ 9.1
8. 輸送用機械器具	△ 40.0	0.0	△ 20.0	0.0	0.0	△ 40.0	20.0	0.0	△ 20.0	△ 60.0
9. その他	△ 7.7	△ 15.4	△ 7.7	7.7	0.0	△ 15.4	△ 15.4	△ 7.7	0.0	△ 53.8
非製造業	-	-	△ 4.8	2.4	△ 6.0	△ 8.4	3.6	△ 3.6	△ 8.4	△ 30.1
10. 建設業	-	-	△ 13.3	13.3	0.0	△ 6.7	0.0	△ 6.7	△ 6.7	△ 13.3
[卸・小売業]	-	-	5.4	0.0	△ 5.4	△ 10.8	8.1	5.4	△ 10.8	△ 32.4
11. 卸売業	-	-	0.0	△ 5.9	0.0	△ 5.9	11.8	0.0	0.0	△ 41.2
12・小売業	-	-	10.0	5.0	△ 10.0	△ 15.0	5.0	10.0	△ 20.0	△ 25.0
13. 運輸業	-	-	20.0	0.0	△ 10.0	10.0	10.0	△ 10.0	△ 20.0	△ 20.0
14. サービス業 その他	-	-	△ 28.6	0.0	△ 9.5	△ 14.3	△ 4.8	△ 14.3	0.0	△ 42.9
合 計	△ 3.9	△ 1.3	△ 1.9	1.9	△ 1.3	△ 2.5	1.3	0.0	△ 4.4	△ 27.5

■来期(平成24年10～12月期) 企業経営動向見通し(BSI)

業種／項目	受注高	生産高	売上高	在庫高	資金繰り	銀行借入	設備投資	雇 用	採 算	業界業況
製造業	19.5	29.9	29.9	△ 10.4	16.9	△ 14.3	11.7	5.2	10.4	△ 7.8
1. 食料品	35.7	50.0	35.7	△ 14.3	14.3	14.3	14.3	7.1	7.1	0.0
2. 繊維製品	0.0	0.0	37.5	△ 50.0	25.0	△ 12.5	0.0	△ 25.0	25.0	△ 12.5
3. 木材・木製品	40.0	40.0	40.0	△ 20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0
4. 窯業・土石製品	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0
5. 化学工業・石油製品	57.1	57.1	57.1	△ 14.3	42.9	△ 42.9	0.0	0.0	42.9	14.3
6. 金属製品	27.3	45.5	36.4	0.0	18.2	△ 27.3	27.3	27.3	△ 9.1	9.1
7. 機械器具	0.0	9.1	△ 9.1	△ 9.1	0.0	△ 9.1	18.2	0.0	0.0	△ 18.2
8. 輸送用機械器具	△ 60.0	△ 20.0	△ 40.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 40.0	20.0	△ 20.0	△ 40.0	△ 60.0
9. その他	30.8	38.5	61.5	7.7	38.5	△ 30.8	△ 7.7	0.0	30.8	△ 23.1
非製造業	-	-	6.0	10.8	△ 1.2	△ 3.6	13.3	△ 1.2	4.8	△ 28.9
10. 建設業	-	-	6.7	6.7	6.7	13.3	△ 6.7	6.7	△ 6.7	△ 13.3
[卸・小売業]	-	-	21.6	10.8	2.7	△ 10.8	24.3	2.7	10.8	△ 35.1
11. 卸売業	-	-	41.2	17.6	0.0	5.9	23.5	△ 5.9	17.6	△ 35.3
12・小売業	-	-	5.0	5.0	5.0	△ 25.0	25.0	10.0	5.0	△ 35.0
13. 運輸業	-	-	△ 30.0	0.0	△ 20.0	10.0	30.0	△ 10.0	△ 20.0	△ 20.0
14. サービス業 その他	-	-	△ 4.8	19.0	△ 4.8	△ 9.5	0.0	△ 9.5	14.3	△ 33.3
合 計	19.5	29.9	17.5	0.6	7.5	△ 8.8	12.5	1.9	7.5	△ 18.8

II. 経営上の問題点

1位は「過当競争」(21.8%)、2位は「販売(受注)不振」(18.7%)、3位は「製品(販売)安」(14.3%)、4位は「原材料(仕入)高」(12.8%)、5位は「設備老朽化」(11.5%)で、上位5項目で全体の8割(79.1%)を占めている。前期(24年4~6月期)と上位5項目の順位に変動は無かった。

「経営上の問題点」の推移

順位	平成23年/10~12月期		平成24年/1~3月期		平成24年/4~6月期		平成24年/7~9月期	
	項目	構成比	項目	構成比	項目	構成比	項目	構成比
1	販売(受注)不振	21.9%	過当競争	23.1%	過当競争	24.1%	過当競争	21.8%
2	過当競争	20.2%	販売(受注)不振	19.4%	販売(受注)不振	17.8%	販売(受注)不振	18.7%
3	製品(販売)安	17.1%	原材料(仕入)高	18.1%	製品(販売)安	14.9%	製品(販売)安	14.3%
4	原材料(仕入)高	15.4%	製品(販売)安	13.8%	原材料(仕入)高	13.0%	原材料(仕入)高	12.8%
5	設備老朽化	10.6%	設備老朽化	11.3%	設備老朽化	10.5%	設備老朽化	11.5%
6	求人難	5.1%	その他	3.4%	求人難	5.7%	求人難	5.9%
7	その他	2.7%	求人難	3.4%	その他	4.4%	その他	3.7%
8	設備不足	1.7%	金利負担増	1.9%	設備不足	2.9%	賃金上昇	2.5%
9	金利負担増	1.4%	賃金上昇	1.6%	賃金上昇	2.2%	金利負担増	2.2%
10	賃金上昇	1.4%	借入れ難	1.3%	回収条件の悪化	1.6%	借入れ難	1.9%
11	借入れ難	1.0%	設備不足	1.3%	借入れ難	1.3%	設備過剰	1.6%
12	回収条件の悪化	0.7%	設備過剰	0.6%	金利負担増	1.0%	設備不足	1.2%
13	設備過剰	0.3%	環境対応	0.6%	環境対応	0.6%	回収条件の悪化	0.9%
14	環境対応	0.3%	回収条件の悪化	0.3%	設備過剰	0.0%	環境対応	0.9%

業種別回答数及び構成比

業種	回答社数	構成比
製造業	77	48.1%
食料品	14	8.8%
繊維製品	8	5.0%
木材・木製品	5	3.1%
窯業・土石製品	3	1.9%
化学工業・石油製品	7	4.4%
金属製品	11	6.9%
機械器具	11	6.9%
輸送用機械器具	5	3.1%
その他	13	8.1%
非製造業	83	51.9%
建設業	15	9.4%
卸売業	17	10.6%
小売業	20	12.5%
運輸業	10	6.3%
サービス業 その他	21	13.1%
合計	160	100.0%

企業経営動向調査概要

- ①調査時期：平成24年9月（毎年3・6・9・12月実施）
- ②調査事項：受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、銀行借入、設備投資、雇用、採算、業界業況の各項目別BSI、売上高の増加・減少要因、設備投資目的、経営上の問題点
- ③調査方法：景況感についての調査
前期（平成24年4~6月）と比較した今期（平成24年7~9月）の実績及び今期（平成24年7~9月）と比較した来期（平成24年10~12月）の見通しを調査。
- ④調査対象：県内に本社または主工場を持つ主要企業252社
- ⑤回答率：63.5%（回答160社）

（主任研究員 高木俊裕）